

標 題 : Frequent Consumption of Sugar- and Artificially Sweetened Beverages and Natural and Bottled Fruit Juices Is Associated with an Increased Risk of Metabolic Syndrome in Mediterranean Population at High Cardiovascular Disease Risk

砂糖入りと人工甘味料入りの飲料および天然と瓶入りの果汁の頻繁な摂取は心臓血管系疾患リスクの高い地中海沿岸住民でメタボリックシンドロームのリスクを高める

著 者 : C. Ferreira-Pêgo, et al. (スペイン ロビラ・イ・ビルジリ大学  
医学・健康科学部 Hospital Universitari de Sant Joan de Reus ヒト栄養科)

掲 載 誌 : J. Nutr. 2016 Jun 29. pii: jn230367 [Epub ahead of print]  
[印刷に先立つ電子出版 : 印刷版は同誌 2016 Aug;146(8):1528-36]

要 旨 :

背 景 : 甘味飲料の摂取とメタボリックシンドロームとの間の関連は、論議を引き起こしている。

目 的 : 砂糖入りの飲料、人工甘味料入りの飲料、および天然と瓶入りの果汁の摂取とメタボリックシンドロームの発症率との関連を、心臓血管系疾患のリスクが高くして開始時にメタボリックシンドロームがない高齢者で、この解析が評価した。

方 法 : PREDIMED (PREvención con DIeta MEDiterránea)研究から開始時にメタボリックシンドロームのない 1868 人の参加者を、我々は観察した。

メタボリックシンドロームを、国際糖尿病連合、アメリカ心臓協会、および国立心肺血液研究所の最新の統一基準を用いて定義した。

エネルギーおよび栄養素の摂取量を、認証済の 137 項目食品頻度アンケートを用いて開始時および毎年評価した。

メタボリックシンドロームおよびその構成成分の多変量調整 HR(ハザード比)を、追跡中の平均摂取量から推計した。

2種類の最高摂取(1-5および>5杯/週)を最低(<1杯/週)と我々は比較した。

結 果 : 合計 930 件のメタボリックシンドローム発症例が、3.24 年(中位数)の追跡中に記録された。

我々が>5杯/週の摂取と<1杯/週の摂取を比較したときに、メタボリックシンドローム発症の多変量 HR (95%CI)は、砂糖入りの飲料 1.43(1.00-2.15)、人工甘味料入りの飲料 1.74(1.26-2.41)、天然果汁 1.30(1.00-1.69)および瓶入りの果汁 1.14(1.04-1.65)であった。

結論： 砂糖入りおよび人工甘味料入りの飲料の時折の摂取(1-5杯/週)は、心臓血管系疾患リスクが高い中年および高齢者でメタボリックシンドロームの発症率と関連しなかった。

解析した全種類の飲料の>5杯/週の摂取は、メタボリックシンドロームおよびその一部構成要素のリスク増加と関連した。

しかし砂糖入りの飲料および瓶入りの果汁では、この関連を慎重に解釈する必要があるのは、この住民における摂取の頻度が低いためである。

この試験は、[clinicaltrials.gov](https://clinicaltrials.gov) に [ISRCTN35739639](https://clinicaltrials.gov/ct2/show/study?term=ISRCTN35739639) として登録された。

著作権： アメリカ栄養協会。

キーワード： PREDIMED 研究、人工甘味料入りの飲料、果汁、メタボリックシンドローム、メタボリックシンドローム構成要素、砂糖入りの飲料

---